

平成25年度 生涯学習推進専門講座 事業報告

I 事業の概要

- 1 研修テーマ 「住民参画を促す生涯学習の推進」
～住民自ら学び、活動する契機となる学習機会の充実に向けて～
- 2 目的 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術などについて理解を深める。
- 3 期 日 平成25年11月 7日(木)・8日(金)
- 4 会 場 道民活動センタービル「かでの2・7」 7階 730研修室
- 5 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、生涯学習関連施設(児童館、勤労青少年センターなど)職員等
- 6 参加状況 34名(定員30名)

7 プログラム

	9:30	10:00	10:15	12:15	13:15	14:45	17:00
日		受付	開会	基調講義	昼食・休憩	事例研究	ワークショップ
二							
日							
目	9:00	9:30		12:00	13:00	15:30	
		受付	演習	昼食・休憩	演習		

8 活動の概要

(1) 基調講義

- ア テーマ 「参加と協働のデザイン ～合意形成のプロセスとは～」
- イ 講師 特定非営利活動法人NPO研修・情報センター
代表理事 世古 一穂 氏
- ウ 内容 住民との協働が求められる背景や、多様な当事者が自由な議論をとおして合意形成していくプロセスの重要性等について理解を深めた。



(2) 事例研究

- ア テーマ 「住民との協働の取組～実践事例に学ぶ～」
- イ 発表者 小平町教育委員会社会教育課主査
(社会教育主事)長澤 政之 氏
羅臼町教育委員会社会教育課社会教育係長
(社会教育主事)石崎 佳典 氏
- ウ 進行 北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也
- エ 内容 市町村における協働の事例（小平町社会教育中期計画の策定作業のプロセスにおける社会教育委員によるワークショップの取組、並びに羅臼町総合型地域スポーツクラブの住民主導の運営に移行していく過程におけるワークショップの取組）から、住民と合意形成を図りながら進めていく地域づくりのポイントを探り、研究協議の足がかりとした。



(3) 研究協議

- ア テーマ 「プロセス重視の取組に向けて」
- イ 進行 北海道立生涯学習推進センター主査 本田 憲司
- ウ 内容 グループに分かれ、基調講義の内容及び実践事例をもとに、合意形成に至るプロセス重視の視点から意見交換・発表し、その成果を全体で共有した。



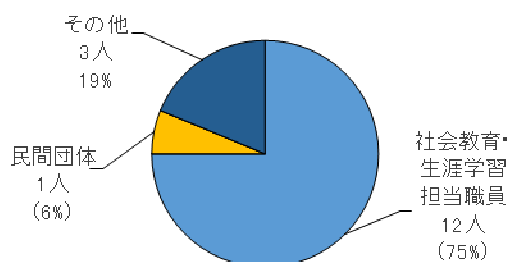
(4) 演習

- ア テーマ 「住民の主体的な活動を促す手法について」
- イ 講師 有限責任事業組合（LLP）
ファシリテーションアイズ理事 篠原 誠 氏
有限責任事業組合（LLP）
ファシリテーションアイズ理事 吉江 妙子 氏
- ウ 内容 住民参画の取組の充実に向け、住民の意見を聴き、合意形成を図るなど、住民の主体的な活動を促す上で効果的な「ワークショップ」の活用について、その手法を学んだ。



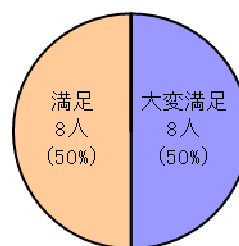
Ⅱ 事業の満足度

1 アンケート対象者数 34名 回答者数 16名 (回収率 47.1%)



2 講座全体への満足度

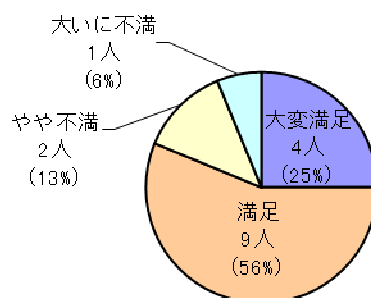
- ・講義では本質的な話が聞けた。また、色々な方々と交流が図られ良かった。
- ・住民参加、協働の根本的な部分を再確認できた。
- ・内容がすごく勉強になった。
- ・1日目の午前の部（基調講義）はインパクトのある内容だった。2日目は楽しく参加することができた。
- ・新たな気づき、即実践できるような学びが多々あった。
- ・堅苦しくなく楽しめた。
- ・交流と体験から今までにはなかった学びを得られた。
- ・他市町村の施策の進め方及び総合型クラブ設立の進め方を学ぶことができた。
- ・ワークショップの新たな手法を学ぶとともに、素晴らしい出会いにも恵まれた。



3 研修講座の各プログラムの内容についての満足度

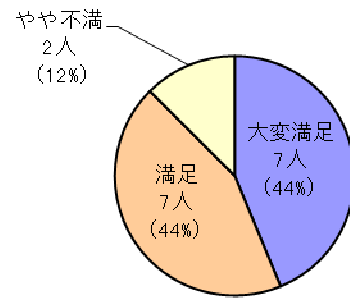
(1) 基調講義

- ・地元の方々に言われていた本質的な内容を指摘され、身が引き締まった。
- ・行政の考える合意形成の認識と違っている部分があった。
- ・首長や議員研修でも取り上げて良い内容と感じた。
- ・自身の取組を見直すことができた。
- ・講師の話に引き込まれ、すごく参考になった。特に、「合意形成は話し合いで納得するまで」とする説明が印象に残った。
- ・参加型の講義で合意形成を体験できたことが良かった。
- ・コミュニティレストランの話をもっと聞ければ良かった。
- ・講義中に問いかけ、参加者が番号札で答えるという講師の工夫により、受講する姿勢が積極的になった。講義だけでなく会議等でも使えそうな手法だった。
- ・とても緊張感があった。
- ・講義内容は良いが座学にしかならない。
- ・講義内容については良かったが、講師の口調や態度が個性的で自分には合わなかった。



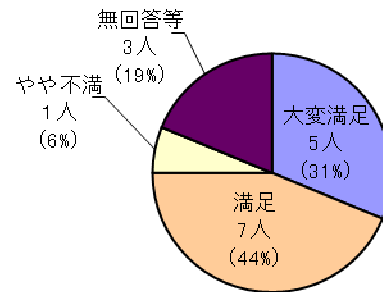
(2) 事例研究

- 具体的な事例で参考になった。
- 具体的な体験談が参考になった。
- 計画策定のプロセスで策定委員（住民の代表）が つながりをもち、互いにマッチングすることにより、地域づくりに向けた新たな取組へと発展する仕組みが勉強になった。
- 「つなぐ」役割を果たすことにより、自主的な住民参画が促される可能性を感じた。
- 住民との協働が見えづらい部分があった。
- もう少し具体的な手法の部分を知りたかった。
- 時間が残ってしまい勿体なかった。



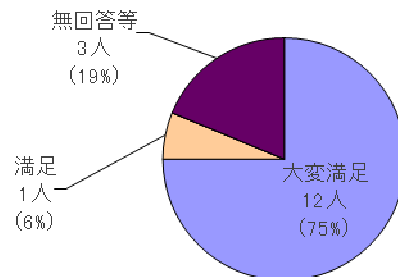
(3) 研究協議

- 他の自治体や様々な立場において抱える課題及び現状を聞くとともに、自らの課題に対するアドバイスも得られて有意義だった。
- わかりやすかった。
- もう少し時間があるとさらに良かった。
- もっと内容の濃さがほしかった。



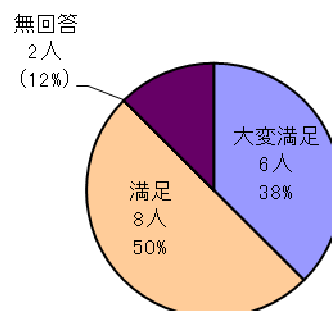
(4) 演習

- この演習が受けたくて参加した。
- 楽しくスキルアップできた。
- 実際に体験し、難しさを実感できたので良かった。
- ワールドカフェを初めて体験することができた。参加学生の考えを知ることにより交流を図ることができた。
- 実践する機会は大変貴重である。
- 演習の時間はもっと長くて良い。
- 様々な手法を体験することで新たな気づきを得ることができた。特に、ファシリテーションでは、「ほかの人にもわかりやすく」という視点を持ち、様々な会議をまとめることが求められていると実感した。



4 研修講座の運営についての満足度

- 運営については大満足である。勉強の機会を提供いただいた。
- 充実感ある講座だった。
- 適度に休憩もあるなどタイミングが良かった。
- 丁寧な対応であった。
- 2日日程なら宿泊研修（缶詰状態で集中して）できないか。



5 その他、感想や気づいた点について

- とても勉強になった。ステップアップできればと思う。
- 特に、基調講義から刺激を受けることができた。
- ファシリテーションについてとても参考になった。
- とても実践的で良かった。
- もっと専門的な（内容の濃い）研修が良い。

6 センター講座への期待について

- 聴くだけの講義ではなく参加型の講義が良い。
- 今回のような体験的要素があって良い。
- 2日間の講座を全員一カ所に宿泊して実施するようにしたらどうか。
- さらに長期の実践プログラムにも参加してみたい。